令和６年度　基本評価調書	所管部局	水産林務部	所管課	林業木材課

施策名	林業担い手対策	施策コード	0709
政策の柱	ゼロカーボン	政策体系コード	1(3)C
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策	事務事業数	9
特定分野別計画	北海道森林づくり基本計画		
SDGs		総合判定	順調

予算額（千円）	R6	389,617千円	R5	393,913千円	R4	382,402千円

施策目標	道内外からの林業への新規参入など、森林づくりを担う人材の育成・確保を進め、山村地域における就業機会の確保を図る。 北の森づくり専門学院(略称　北森カレッジ)において、将来の森林づくりを担う人材を育成する。
現状と課題	(地域の森林づくりを担う人材の育成及び林業従事者の確保・定着の促進) 人工林資源が利用期を迎え、今後、伐採や植林などの事業量の増加が見込まれる中、これらの作業を行う人材や事業体の役割はますます重要となっている。林業従事者数は近年おおむね横ばいで推移しているが、このうち、造林を担う従事者数は減少していることから、地域の森林づくりを担う中核的な人材の育成とともに、安定的に林業労働力を確保する必要がある。 (山村地域における就業機会の確保等) 山村地域は、森林づくりの担い手の生活基盤としての役割を果たしていることから、森林の恵みを将来にわたり享受していくためには、森林管理を担う山村地域の活性化が重要である。

〈主な取組〉

今年度の取組	(地域の森林づくりを担う人材の育成及び林業従事者の確保・定着の促進) ・北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、PRキャラバンや高校・大学等への訪問、道外での入学試験などを実施。関係団体と連携し、生徒の意向や適性に応じた就業先の確保に努めるとともに、様々な地域・分野におけるインターンシップや進路相談等を通じ、生徒が希望する就業先を選択できるよう支援する。 ・地域協議会との連携による道内外への林業の魅力発信などの取組を進めるとともに、体系的で段階的な研修の実施等による林業従事者の育成や、作業負担の軽減と労働安全の確保により安心して働き続けられる就業環境の整備、事業体における就業体験の受入環境の整備などに取り組み、新規就業者の確保や従事者の育成・定着を促進する。 (山村地域における就業機会の確保等) ・林業従事者の通年雇用に取り組む事業主に対する奨励金の助成や公共施設の木造化・木質化の支援のほか、特用林産物の需要喚起などにより、山村地域における就業機会の確保を図る。
実績と成果	(地域の森林づくりを担う人材の育成及び林業従事者の確保・定着の促進) ・北森カレッジにおいて、インターンシップや林業・木材産業関係企業が参加する合同企業説明会の実施等を通じた、生徒の意向や適性に応じた支援により、卒業生が道内の林業・木材産業企業等へ就職した。(R5:33名、R4:34名) ・北森カレッジにおいて、オープンキャンパスや高校・大学等への個別訪問、道外での入学試験などを実施し、道内外からの入学者を確保した。(R3:40名、R4:40名、R5:34名) ・地域協議会において、地元高校生などを対象とした現場見学や就業体験などを実施し、林業従事者の確保の取組を促進した。(全道14地域で実施) ・若手林業従事者のネットワークを活用した勉強会や交流会を実施し、林業従事者の定着に向けた取組を促進した。(R4 勉強会・セミナー等:4回、R5 勉強会・セミナー等:5回) (山村地域における就業機会の確保等) ・就労長期化推進するため、森林作業員就業条件整備事業により、就労日数に応じた奨励金を支給した。 ・公共施設の木造化・木質化について、支援を図る。 ・特用林産物について、生産者団体と連携し、きのこ品評会や展示販売会等のイベントを行い、普及PRを行った。(品評会:1回、展示販売会1回、展示会1回)

参考HP①	水産林務部林務局林業木材課	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/index.html
参考HP②		
参考HP③		

令和6年度 基本評価調書	【1(3)C_0709】林業担い手対策

〈**指標分析**〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	人	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R13)	達成率	指標判定
林業の新規参入者数		目標値	160	160	160	160	108.8%	A
		実績値	134	190	174			

設定理由	林業担い手の確保を推進するうえで林業就業者の人数を把握する指標であり、課題である森林づくりを担う人材の育成・確保に向けた取組の成果を測る指標として設定。
指標公表時期	隔年調査、翌年10月公表
出典(根拠計画等)	北海道総合計画、北海道森林づくり基本計画、北海道水産林務部「林業労働実態調査」(実態調査公表年以外は労働力調査を基に水産林務部において算出)

分析(主な取組と成果)

首都圏在住者や林業への転職希望者の関心を高めるため、農政部・水産林務部・総合政策部との部門横断的な施策(北海道移住交流フェアへの出展)を通じ、林業の仕事内容や魅力を発信している。また、令和2年に開校した北の森づくり専門学院での人材育成の取組が進み、卒業生の林業事業体への就職により新規参入者数の増加に寄与。

指標名②	増加	%	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R13)	達成率	指標判定
通年雇用者割合		目標値	68.0	69.0	70.0	77.0	105.1%	A
		実績値	67.0	72.0	73.6			

設定理由	林業担い手の確保を推進するうえで林業就業者の雇用形態を把握する指標であり、課題である林業労働力の安定的確保に向けた取組の成果を測る指標として設定。
指標公表時期	隔年調査、翌年10月公表
出典(根拠計画等)	北海道森林づくり基本計画、北海道水産林務部「林業労働実態調査」(実態調査公表年以外は労働力調査を基に水産林務部において算出)

分析(主な取組と成果)

地域の林業事業体や教育機関、市町村などの関係者と連携した協議会(H30～14振興局で実施)において、就業環境の改善に向けた取組などを進めている。

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

令和6年度 基本評価調書	【1(3)C_0709】林業担い手対策

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 本道では全国を上回るスピードで少子高齢化が進行しており、事業量の増加が見込まれる伐採や伐採後の着実な植林といった森林整備を着実に進めるためには、道内外から幅広い人材の確保が必要。 (取組と成果) 幅広い関心層に対する魅力発信に向けて、一次産業の関係部局との連携に加えて、移住関連施策(総合政策部)と連携した取組により、本道の広大な森林で働く林業や、地域での暮らしの魅力を発信。
緊急性 優先性	(課題) 林業従事者のうち高齢者の占める割合が依然として高く、今後、林業従事者の急激な減少が懸念される中、事業量の増加が見込まれる伐採や伐採後の着実な植林といった森林整備を着実に進めるためには、これらを担う人材の確保と育成が急務。 (取組と成果) 林業事業体の経営力の強化に向けた研修会の実施や、森林づくりを担う人材の育成・確保に向けたインターンシップやキャリアアップ研修などへの支援の充実・強化、林業・木材産業の即戦力人材を育成する「北の森づくり専門学院」の生徒を支援する「緑の青年就業準備給付金事業」の予算を安定的に確保することを国へ要望。(R6年5月)

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
林業従事者数(人)	4,253(H29)	4,269(R元)	4,208(R3)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
林業従事者数は、近年概ね横ばいで推移。造林分野では従事者は減少傾向。
(造林　H23:1,978人→R3:1,510人)

(状況) 林業従事者は、全国では減少傾向にあるが、道内は概ね横ばいで推移。(全国H22:5.1万人→R2:4.4万人) 林業従事者の確保と定着に向けた取組に加え、造林作業における作業負担の軽減を図るため、機械化や軽労化を推進する。	b

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

(状況)	

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

(状況)	

令和6年度 基本評価調書	【1(3)C_0709】林業担い手対策

〈総合判定〉

指標判定	A	連携状況	○	総合判定	順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	b		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

（該当なし）

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、北森カレッジ独自のカリキュラムをSNSなど多様なツールにより積極的に発信するとともに、道内高校への働きかけを強化するほか、社会人を対象としたオンライン面接による入試を新たに実施。国の緑の青年就業準備給付金事業の活用により生徒の就学時の負担軽減を図るとともに、インターンシップや就業相談を通じ、生徒の意向や適性に応じた就職先の確保に努め、道内各地への着実な就業につなげる。
	②	本道の森林づくりを担う人材の確保に向けて、道内外の関心層に向けた林業の魅力発信や就業体験の実施により、新規就業者の確保に取り組むとともに、体系的かつ段階的な研修により林業従事者のキャリアアップを図るほか、森林整備の作業の軽労化と労働安全の確保により安心して働き続けられる就業環境の整備を図る。
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応		
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	北森カレッジの入学者を道内外から広く確保するため、北森カレッジ独自のカリキュラムをSNSなど多様なツールにより積極的に発信するとともに、道内高校への働きかけを強化するほか、社会人を対象としたオンライン面接による入試を引き続き実施。 また、生徒の就学時の負担軽減を図るとともに、インターンシップや就業相談を通じ、生徒の意向や適性に応じた就職先の確保に努め、道内各地への着実な就業につなげる。
	②	本道の森林づくりを担う人材の確保に向けて、道内外の関心層に向けた林業の魅力発信や就業体験の実施により、新規就業者の確保に取り組むとともに、体系的かつ段階的な研修により林業従事者のキャリアアップを図るほか、森林整備の作業の軽労化と労働安全の確保により安心して働き続けられる就業環境の整備を図る。 また、林業の技能検定制度を活用し、林業従事者の伐木作業技術や地位の向上を図る。
	③	

令和６年度　事務事業評価調書	施策名	林業担い手対策	施策コード	0709

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課･局室名	前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト(千円)	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応(令和6年度) 次年度方向性	二次評価意見への対応状況
0631	-	事務	林業機械化の推進に関すること(低コストな機械作業システムの構築を含む)	森林作業の機械化の促進のため、必要な調査等を行う事務	林業木材課		0	0	0.5	1.5	2.0	16,020					
0632	-	事務	担い手対策の企画･立案･実施に関すること	林業労働に従事する者の育成･確保、技術及び技能の向上及び福利厚生の充実を図るために必要な対策の企画･立案並びに新規就業者の確保に向けた通年雇用化や就業環境の改善などを促進する事務　等	林業木材課		0	0	4.0	1.9	5.9	47,259					
0633	-	一般	森林整備担い手対策推進費	林業労働者の安全衛生の確保、技術技能の向上、福利厚生の充実等に資する事業の実施	林業木材課		105,480	104,000	1.0	2.7	3.7	135,117	②	改善(取組分析)		拡充	
0634	-	一般	林業就業促進資金貸付事業に関すること	新規就業者等に対する林業就業促進資金貸付に関する事務	林業木材課		1,793	0	0.1	0.0	0.1	2,594	②	改善(取組分析)		改善	
0640	-	事務	林業事業体等の振興対策等に関すること	林業事業体等の振興に係る施策の立案や林業事業体の育成･指導･研修に関する事務 林業事業体登録制度に関する事務	林業木材課		0	0	1.0	0.0	1.0	8,010					
0642	-	一般	緑の青年就業準備給付金事業費	北の森づくり専門学院で専門的な知識と技術を習得する学生に対し、給付金を支給する事務	林業木材課		115,302	0	0.3	0.0	0.3	117,705	①	改善(取組分析)		改善	
0643	-	一般	北の森づくり専門学院管理費	北の森づくり専門学院における校舎･地域における講義･実習の運営や学生募集のための情報発信に関する事務	林業木材課		130,398	0	20.1	0.0	20.1	291,399	①	改善(取組分析)		拡充	
0644	-	維持費	北の森づくり専門学院管理費(維持費)	北の森づくり専門学院における校舎施設の整備に関する事務	林業木材課		26,213	0	0.1	0.0	0.1	27,014					
0645	-	事務	森林整備等支援事業費(市町村の体制強化)	「森の魅力発信し隊」による雇用拡大事業	林業木材課		10,431	10,431	0.4	0.0	0.4	13,635					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
計						0	389,617	114,431	27.5	6.1	33.6						